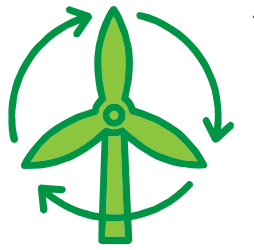


農産物直売所に風力発電機を設置しました。



千葉県立薬園台高等学校
園芸科



中学生体験入学に来た花子さんが、
園芸科の先生に聞きました。



Q：なぜ、風力発電機を設置したのですか？

A：平成19年に園芸科の農場の入口に農産物直売所がOPENしました。おかげさまで地域の方々がたくさん訪れにぎわっています。そのような場所で「地球環境のことを考えるきっかけができれば」と思い設置しました。



園芸科農産物直売所



開店を知らせるサインボード

風力発電機設置中



Q：発電した電気はどうするのですか？

A：直売所の中にあるバッテリーに充電し、販売を知らせる「OPEN」と光るサインボードや照明の電源に使用しています。太陽光発電パネルも設置し、風の無い晴天時も発電しています。

Q：生徒の皆さんの反応はどうですか？

A：「自然エネルギーで発電できるのはすばらしい」「普段何気なく使っている電気を作るのは大変なことなんだ」「もっと環境のためにこういう発電が普及すればよい」など様々な感想がありました。



生徒手作りの看板



風力発電に関する小学校との合同講演

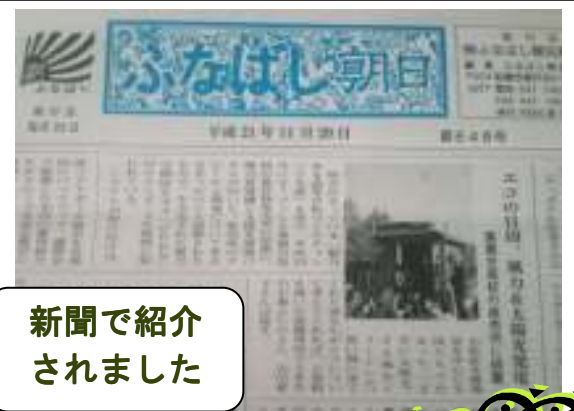
Q：いつ見学できますか？

A：農産物直売所のOPENが、毎週月・水・金の13:30~15:30（学校行事等で休むことがあります）なので、そのときに自由に見学してください。

また、平成21年10月30日には、千葉大学工学部の佐藤建吉先生に「いま育つ、自然エネルギーの芽」と題して講演していただきました。そのときは、近隣の小学生も参加してもらいました。これからも地域の方々にも参加していただけるようなイベントを考えていきたいと思っています。

Q：これからの目標は？

A：現在、園芸科農場では農産物の減農薬栽培、除草剤は使わないことを実践しています。また、直売所のお客様に対して袋の持参と使わなくなった鉢やポットの引き取り（本校で再利用）を呼びかけています。さらに自然エネルギーの有効利用の情報を発信することで環境の事を考える地域の拠点となるように努めていきたいと思っています。



新聞で紹介
されました